

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公開番号】特開2014-163974(P2014-163974A)

【公開日】平成26年9月8日 (2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2013-32096(P2013-32096)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 14/06 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 D

F 2 1 S 2/00 3 1 1

F 2 1 V 14/06

H 0 4 N 5/74 A

H 0 4 N 9/31 Z

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月14日 (2015.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

光拡散素子 5 0 A は、平面視円形の基板 5 1 と、基板 5 1 の第 1 主面 5 1 a 上に設けられた光拡散層 5 2 A と、を有している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

このとき、光拡散素子 5 0 A は、不図示のモーター 5 9 の駆動により回転軸 5 8 回りに回転する。そのため、光拡散層 5 2 A における入射光 L の照射位置 S P が周方向に時間的に変化し、入射光 L が拡散角の異なる複数の拡散領域 5 3 に次々と入射されることとなる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 2 】

レンズ層 5 5 は、入射光 L の入射方向を光拡散素子 5 0 F の平面視方向として、光拡散層 5 2 F と平面的に重なって設けられ、光拡散層 5 2 F が有する複数の拡散領域と平面的に重なっている。レンズ層 5 5 は、基板 5 1 の光拡散層 5 2 F が設けられた面とは反対側の面の全面に設けられることとしてもよく、入射光 L が入射する領域に選択的に設けられることとしてもよい。また、レンズ層 5 5 を構成する複数のレンズのそれぞれについて、曲率は同じであってもよく、異なってもよい。